

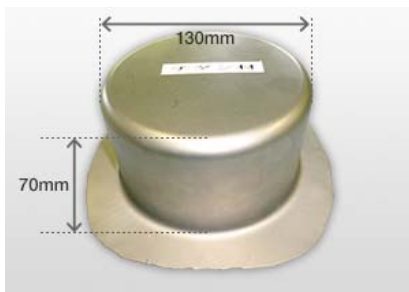


プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。



チタンを使用した深絞り加工を実現！！



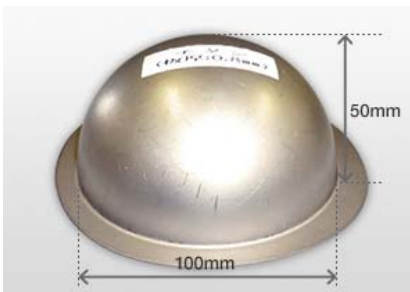
こちらの製品は難削材の絞りトライ品です。材質は、チタンを用いています。チタンは鉄よりも軽く、ステンレスより耐食性に優れ、高温でも有効な強度を保てる耐熱性もある事から、航空機、医療製品など多岐にわたって使用されています。加工においては、割れやすく、加工硬化が大きく、スプリングバックも大きいことから一般的には、成形が難しい材質であるとされています。

一方当社では、対向液圧プレスによる加工とすることで、チタンの様な加工難易度の高い材質への加工も可能となっています。チタンのプレス加工も当社にお任せください。

ワーク名称：円筒カバー 加工方法：絞り加工

業界：— 材質：チタン

チタン材でも半球形状の絞り加工が可能！



こちらの製品も、当社の独自技術である対向液圧プレスによるチタン材を使用した球形絞り加工品です。しわ、割れが発生しやすいとされるチタン材を使用しているにも関わらず、半球形状の加工ができていた点に特徴があり、100mmの径に対して、50mmの高さの絞り加工を実現しています。また、表面にもキズ・シワ等がなく、意匠性という面で高い品質を実現しています。

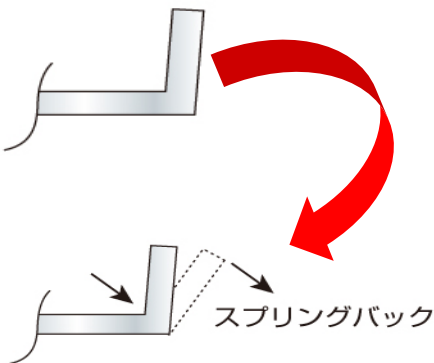
このようなメカ式のプレス加工では難しいとされる材質・形状への加工を当社では、対向液圧プレスで実現します。

ワーク名称：球体カバー 加工方法：絞り加工

業界：— 材質：チタン

当社の加工技術・加工領域に関するご紹介

絞り加工における設計のPOINT②



今回は、本号でも取り扱っているチタンやステンレスを用いた場合のプレス品の設計におけるポイントについて紹介をします。上記の材質では、プレス加工を行う場合にスプリングバックと呼ばれる現象が発生するとされており、曲げ角度などにバラつきが起きやすいとされています。そこで、コーナーRなどの角部を設計する際にはスプリングバックを考慮し、「最小R」とするもしくは、「板厚R以下」とします。これにより、曲げ加工品の品質が担保されます。今回の事例もスプリングバックという材質特性を考慮した細かい設計変更ですが、コストダウン・不良削減への近道の一つとなります。

～今月の一言～

最新ニュース：オートモティブワールド2018に出展します！



当社は、2018年1月17日～19日に開催されるオートモティブワールド2018に出展をいたします。今回は、15社の同業サプライヤーと共同出展を行います。

本ブースのコンセプトは、「次世代自動車 加工技術」というもので、国内におけるTOPサプライヤーが集結して、品質向上・コストダウンを考慮した技術提案をいたします。幅広い加工技術を保有するサプライヤーが全国より集っており、加工技術としてはその領域でのNo.1の企業ばかりです。まずはブースにお越しください。

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松 (アシスタント 吉田)